

多文化便り第二号

時々、発行

多文化マーケット554教室に決定

二〇一四年五月七月十五日、アジア祭教室の抽選が行われました。希望通り、五号館五階の554教室に決まりました。

公式団体名「多文化マーケット」[©]

公式団体名が「多文化マーケット」[©]に決まりました。アジア祭のパンフレットにはこの名称で記載されます。

展示レイアウト

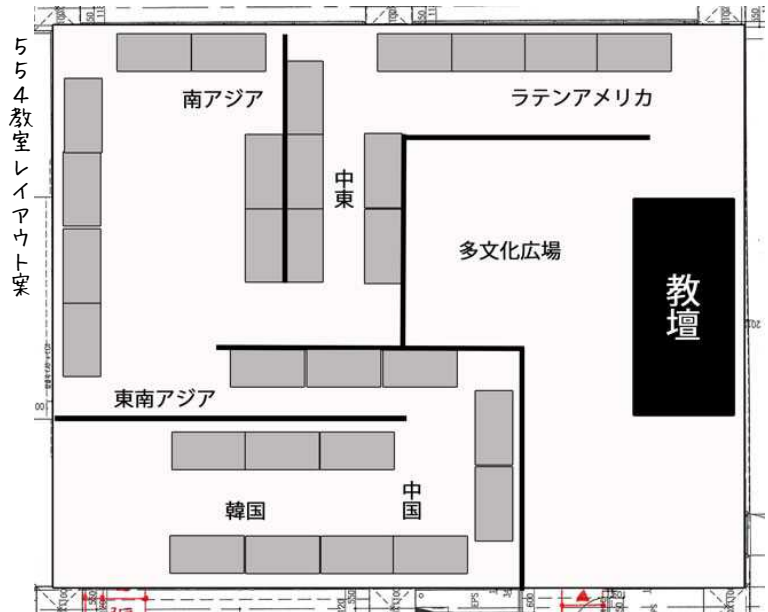
554教室を以下の図のようにも地域+多文化広場に分割します。各地域三つ五のブロック(机)を用いて、市場の展示を行います。展示品は地域言語の先生の意見を伺いながら、作成します。作りたいものがあれば地域言語の先生、または、下記の多文化マーケット実行委員の誰かに連絡してください。

基本形は、雑貨(日用品や土産もの)・野菜果物・食堂(屋台)・木料品です。雑貨類や食品は紙粘土で作ります。トマトやジャガイモ、ナス、トウガラシ、リンゴ、レモン、パン、ヤキトリなどは比較的簡単に作れます。

後期の第二週から展示品作成に取り掛かります。道具は特に必要ありません。紙粘土が乾くまで一〜二日かかります。自分だけの展示品を作りたいと思う人は、二〜三日、出席してください。

多文化広場

市場の最後にイベント広場として多文化広場を設けます。ここでは、地域言語に関するスライドや多文化フィードバック、多文化インターンシップのスライドなどを上映する他、多文化検定、留学生との語らいなどを行います。イベントのアイディアがあれば、地域言語の先生が多文化マーケット実行委員までお知らせください。



野菜の作り方 (例) トマト

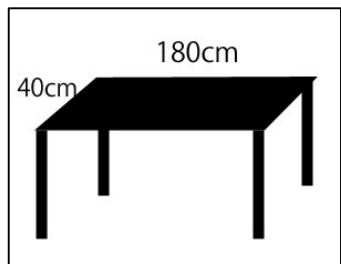
- ①紙粘土をよくこねる。
- ②トマトの型を作る。
こねまで約20分。
- ③1〜2日乾燥させる。
- ④アクリル絵具を塗る(二度塗り)。
- ⑤絵具が乾いたら、ツヤ出しを塗る。
- ⑥できあがり。



紙粘土で作った野菜

多文化マーケット展示品作成
9月29日(月) ~ 10月3日(金)
227教室 18~19時

基本の展示スペース



編集担当 熊島 須

多文化マーケット実行委員
 佐藤 舞花 (代表)
 嶋田 絵里香
 高松 里奈
 千葉 梨奈
 徳山 裕紀
 松井 美樹

アジア祭パンフレット用写真

